

企業の採用広報解禁から2カ月。2027年卒学生の就職活動はどのように進んでいるだろうか。5月1日現在のキャリタス就活・学生モニターの就職活動状況について調査を行った。内定状況のほか、内定取得後の意思決定に必要な情報や、今後の活動方針など、多岐にわたる項目を調査した。前年同期調査や先月調査との比較を中心に確認したい。

### 1. 5月1日現在の内定状況 (※)

- 内定率は76.0%。前年同期実績(76.2%)と同水準
- 就職活動終了者は全体の44.3%。継続者は「内定あり」「内定なし」を合わせて55.7%  
文理差が大きく、文系は6割が継続(60.8%)。理系4割(40.5%)

### 2. 内定を得た企業の業界

- 「情報処理・ソフトウェア」に集中(30.6%)。2位「建設・住宅・不動産」、3位「銀行」

### 3. 内定保持学生の就職先未決定理由

- 「本命企業がまだ選考中」が最多。「自分に合っているかわからない」が次点

### 4. 内定企業への意思決定に必要な情報

- 「実際の仕事内容」が最多。「給与水準・平均年収」「福利厚生」「残業・休日出勤」と続く

### 5. エントリー社数と会社説明会の参加社数

- 一人あたりのエントリー社数の平均は21.6社。前年同期調査(23.4社)を下回る
- 説明会参加社数の平均は16.3社。前年(15.1社)より増加

### 6. 選考試験の受験状況

- ES提出社数は前年を1.5社上回る(平均10.8社→12.3社)。筆記試験、面接社数も増加
- 本選考応募企業のうち「3月以降に興味を持った企業」の割合は2割強(22.6%)

### 7. 就職活動継続学生の動向

- 選考中の企業数は平均3.2社。今後のエントリー予定社数は3.0社。ともに前年より増加
- 今後の方針、「新たな企業を探しながら、持ち駒企業の幅を広げていく」が最多(28.8%)
- 「企業規模にこだわらずに活動」する学生が37.5%。4月調査(29.5%)より大きく増加

### 8. 就活川柳

- 「志望度はやっぱり相手にわかるらしい」「ガクチカは盛って削って 別の人」など佳作を紹介

※「内定」には、内々定を含む

## 調査概要

調査対象：2027年3月に卒業予定の大学4年生（理系は大学院修士課程2年生含む）  
回答者数：1,034人（文系男子235人、文系女子478人、理系男子178人、理系女子143人）  
調査方法：インターネット調査法  
調査期間：2026年5月1日～7日  
サンプリング：キャリタス就活 学生モニター2027  
調査実施：株式会社キャリタス/キャリタスリサーチ

## 1. 5月1日現在の内定状況

5月1日の調査時点で内定を得ている学生はモニター全体の76.0%。前年同様7割台後半に達し、高水準をマークした。文系より理系で高く、理系は男女とも8割に達している。

今期は3月の就活解禁のタイミングで5割を超えるなど(51.7%)、早い時期の過熱ぶりが目立ったが、徐々に前年との差は縮まり、5月時点で前年(76.2%)と同水準となった。なお、同じように内定獲得時期の早期化が顕著だった2026年卒も、5月時点で前年実績に並んでいた。

内定取得学生のうち、就職先を決めて就職活動を終了したのは46.2%と半数弱。内定を保持しながら活動を継続している学生(41.7%)や、活動自体は終了しても複数企業の内定を保持(意思決定を保留)している学生(11.5%)が、それぞれ前年より増えている。

< 5月1日現在の内定状況 > \*「内定」には、内々定を含む

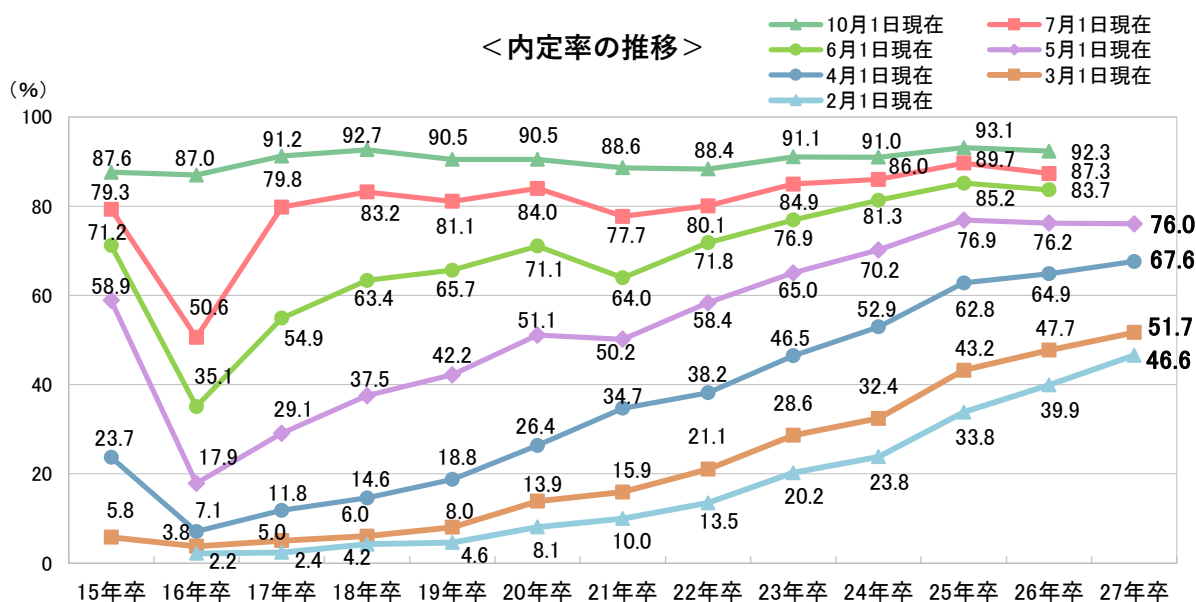
		全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
内定あり		76.0 (76.2)	75.7 (75.1)	72.0 (73.0)	80.9 (82.4)	84.6 (80.0)
内定なし		24.0 (23.8)	24.3 (24.9)	28.0 (27.0)	19.1 (17.6)	15.4 (20.0)
内定者のうち	就職先を決定し活動終了	46.2 (47.8)	40.4 (40.1)	39.0 (38.5)	61.8 (64.7)	65.3 (68.8)
	活動は終了したが複数内定保持	11.5 (10.7)	12.4 (8.9)	13.4 (13.7)	8.3 (10.2)	7.4 (7.1)
	進学などの理由で就職活動を中止	0.6 (0.6)	1.1 (0.0)	0.0 (0.3)	1.4 (1.1)	0.0 (2.7)
	就職活動継続	41.7 (40.9)	46.1 (51.0)	47.7 (47.5)	28.5 (24.1)	27.3 (21.4)

(%)

		全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
内定社数/平均		2.3 (2.3)	2.4 (2.3)	2.3 (2.4)	2.1 (2.3)	2.1 (2.2)

(社)

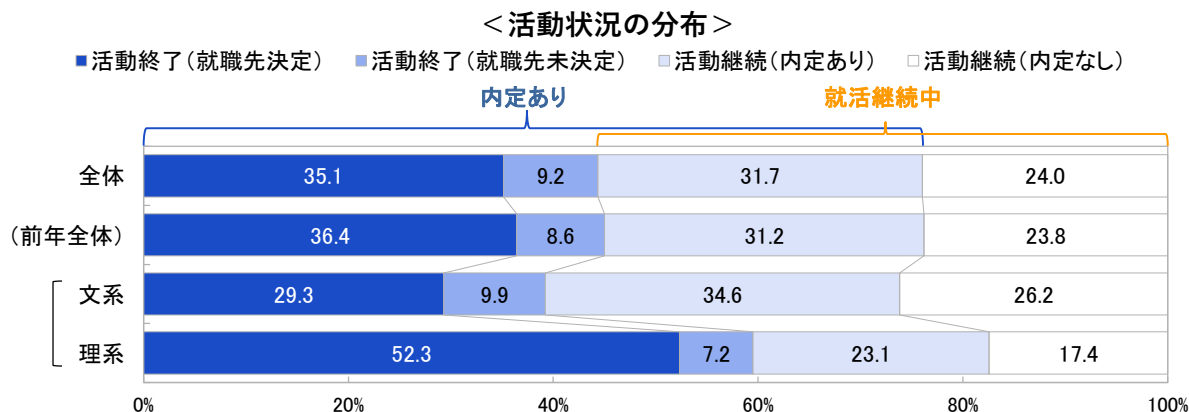
※ ( ) 内は前年(5月1日現在)の数値



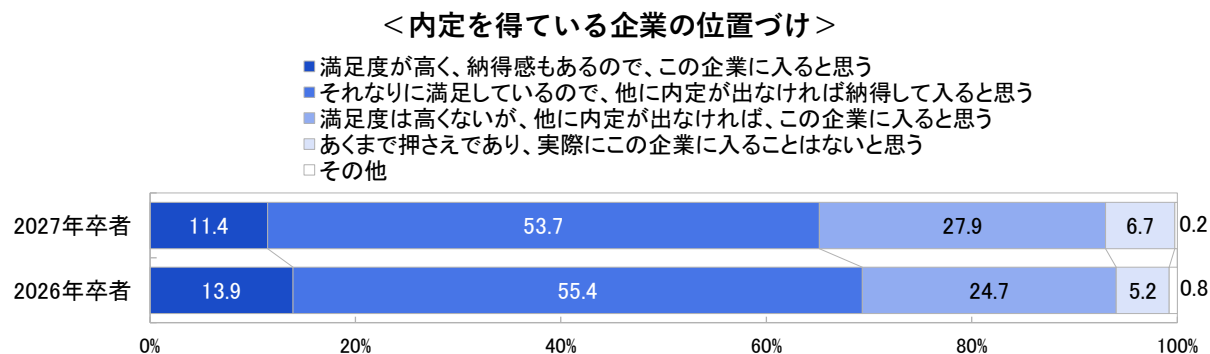
※15年卒までは選考解禁は4月、16年卒は8月、17~27卒は6月

回答者全員を分母に活動状況の分布を見ると、就職先を決定して就職活動を終了した者の割合は35.1%。前年同期(36.4%)をやや下回る。複数内定を保留しているなど未決定である者は9.2%。

活動継続者は「内定あり」(31.7%)、「内定なし」(24.0%)を合わせて55.7%。文系において高く、内定保持者も含め文系学生の6割(計60.8%)が継続中と回答した(理系は同40.5%)。



内定を持ちながら活動を続ける学生(全体の31.7%)に、内定企業の位置づけを確認した。「この企業に入ると思う」と、ほぼ入社を決めている割合は1割程度にとどまり(11.4%)、「他に内定が出なければ…」と他社の結果次第という学生が大半を占める。



## 2. 内定を得た企業の業界

内定を得ている学生に内定企業の業界を尋ね、上位をまとめた(全40業界。複数回答あり)。「情報処理・ソフトウェア」が先月に続いて1位(30.6%)。文系・理系ともに3割を超え、文理に関わらず内定が集中している様子が見て取れる。全体の2位は「建設・住宅・不動産」(14.9%)で、3位は僅差で「銀行」(14.3%)が続く。「建設・住宅・不動産」は理系、「銀行」は文系で順位が高い。

### <内定を得た業界(上位5業界)>

		全 体		文 系		理 系	
1	情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト①	30.6	30.1	30.1	31.7	30.1	31.7
2	建設・住宅・不動産③	14.9	18.4	18.4	23.8	14.3	23.8
3	銀行④	14.3	14.0	14.0	20.8	14.3	20.8
4	調査・コンサルタント②	11.7	12.4	12.4	13.6	11.7	13.6
5	その他サービス⑦	11.3	12.3	12.3	10.2	11.3	10.2

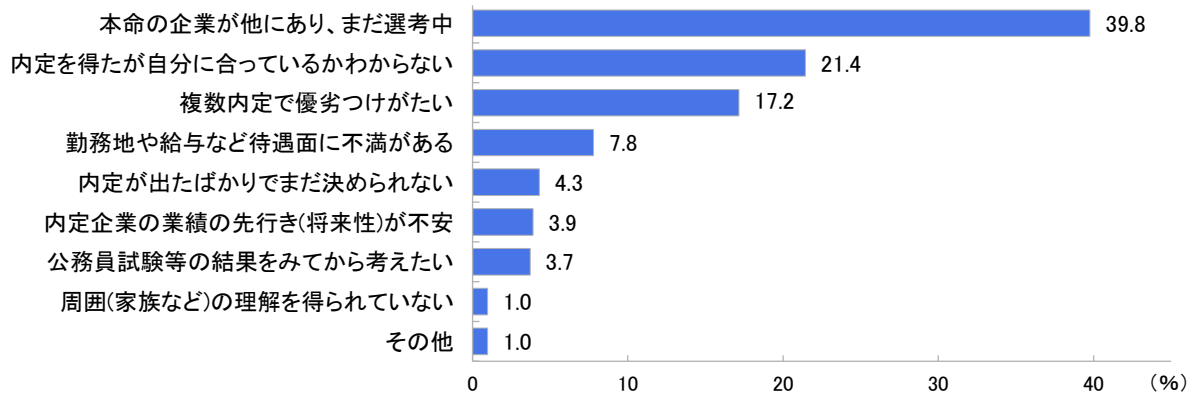
※○の中の数字は前年同調査の全体順位

※「その他サービス」=介護・福祉サービス、アウトソーシングなどのサービス業

### 3. 内定保持学生の就職先未決定理由

内定を取得しても就職先を決めていない学生(モニター全体の40.9%)にその理由を尋ねた。最も多いのは「本命の企業が他にあり、まだ選考中」という回答で(39.8%)、本命企業の結果次第という状況だ。「自分に合っているかわからない」(21.4%)、「複数内定で優劣つけがたい」(17.2%)と続き、内定は得たものの決め手に欠け、承諾を迷う学生も少なくないことがわかる。

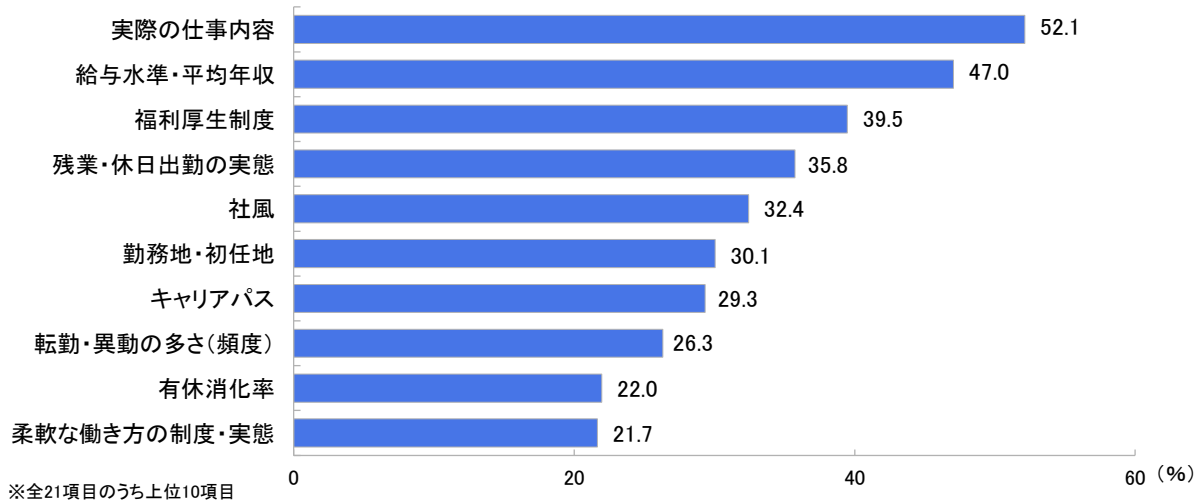
<内定保持者が就職先を決めていない理由>



### 4. 内定企業への意思決定に必要な情報

内定を得た企業に就職するかどうかを決めるために、もっと必要だと感じている情報は何かを尋ねた。最も多いのは「実際の仕事内容」(52.1%)。「給与水準・平均年収」「福利厚生制度」「残業・休日出勤の実態」が上位項目に挙がる。選考中は聞きづらかった項目も、内定を得て入社への意思決定をする際には、しっかりと確認したい学生が多い。

<内定企業への意思決定に必要な情報>



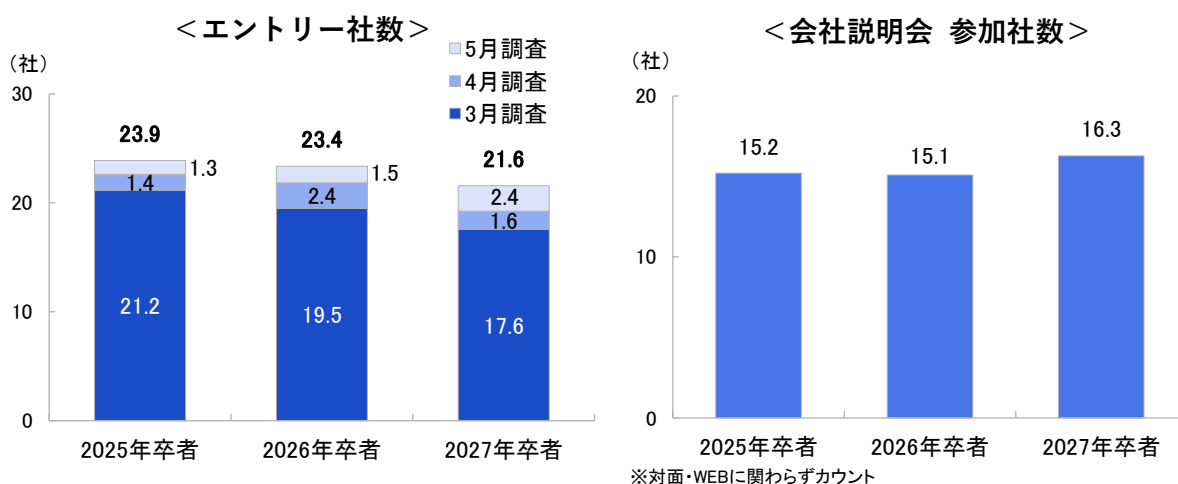
#### ■意思決定のために必要だと思う内定後フォローや、具体的に知りたい情報

- といったキャリアを歩めるのか、配属先や職種、仕事内容が重要。初任給だけでなく、年収の伸びやボーナスなど待遇面の情報も欲しい。 <理系男子>
- いいところだけでなく、大変なことなどを含めて知りたい。福利厚生面の質問は、選考中は遠慮していたため、気になる。 <文系男子>
- 給与と、実際どういった業務を日々するのかはとても気になり、面談で聞きました。 <文系女子>
- 勤務地の希望がどのくらい通るのかや、具体的な仕事内容がイメージできるかが重要。 <理系女子>

## 5. エントリー社数と会社説明会の参加社数

ここまでの活動量を確認したい。5月1日時点での一人あたりのエントリー社数の平均は21.6社。4月調査に引き続き前年同期実績を下回っているが、この1カ月間で2.4社伸びた。新たな企業にアプローチする動きが見られる。

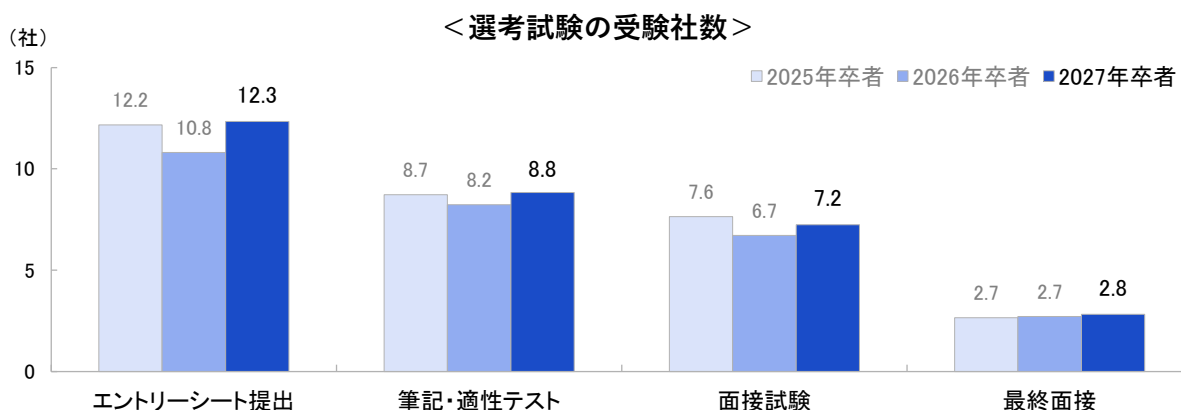
会社説明会の参加社数は平均16.3社。前年・前々年に比べ約1社多い。特に文系において積極的に参加している様子が見て取れる。



	全体	前年全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
エントリー社数 / 平均	21.6	23.4	23.6	24.3	12.9	16.1
会社説明会参加社数 / 平均	16.3	15.1	17.2	18.3	9.7	13.9

## 6. 選考試験の受験状況

選考試験についても見てみる。エントリーシート (ES) 提出社数の平均は12.3社で、前年同期 (10.8社) を1.5社上回る。筆記試験 (8.2社→8.8社)、面接試験 (6.7社→7.2社) についても、前年を上回っている。選考試験の社数を文理で比較すると、男女ともに文系の方が多く、理系は社数を絞り込む傾向が強いことがわかる。



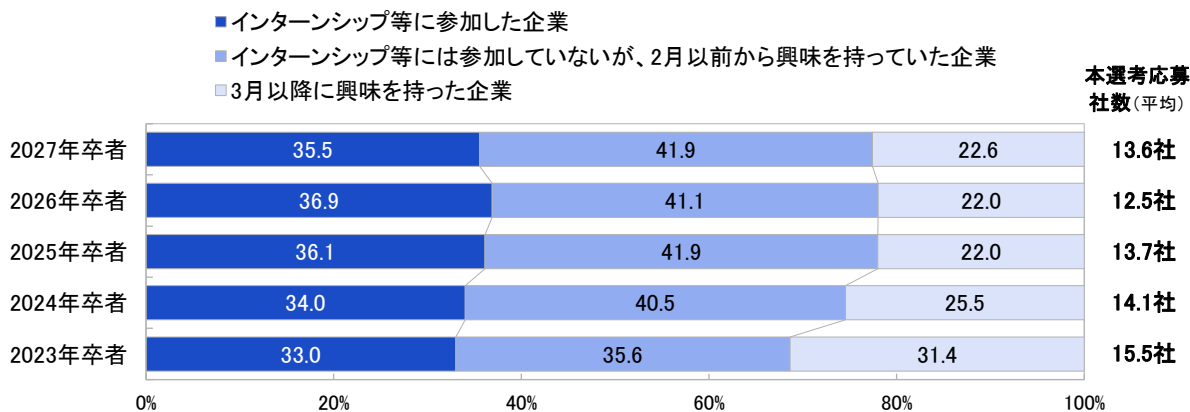
※「最終面接」は、「面接試験」受験者を分母に算出。それ以外は、それぞれ受験者を分母に算出

	全体	前年全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
エントリーシート提出社数 / 平均	12.3	10.8	14.1	13.1	7.9	9.6
筆記・適性テスト受験社数 / 平均	8.8	8.2	10.0	8.8	6.6	7.9
面接試験受験社数 / 平均	7.2	6.7	8.0	7.5	5.4	6.1
最終面接受験社数 / 平均	2.8	2.7	3.1	2.6	2.8	2.7

ES提出など本選考に応募した企業の内訳を尋ね、5カ年分を比較した。採用広報開始前のプレ期に興味を持った企業の割合が今年も多くを占め、「インターンシップ等(※)に参加した企業」と「インターンシップ等には参加していないが、2月以前から興味をもっていた企業」を合わせると、全体の8割近くに上った(77.4%)。一方で、「3月以降に興味を持った企業」の割合が僅かながら増加した(22.6%)。

(※「インターンシップ」に限定せず、オープン・カンパニー等も含めて調査)

### <本選考に応募した企業の内訳>



## 7. 就職活動継続学生の動向

内定保持者を含め就職活動を継続している学生(全体の55.7%)の動向を確認したい。

現在選考を受けている企業数は平均3.2社、今後のエントリー予定社数は3.0社で、前年同期調査をやや上回る。会社説明会の参加予定とES提出予定社数についても、同様に増加傾向が見られる。

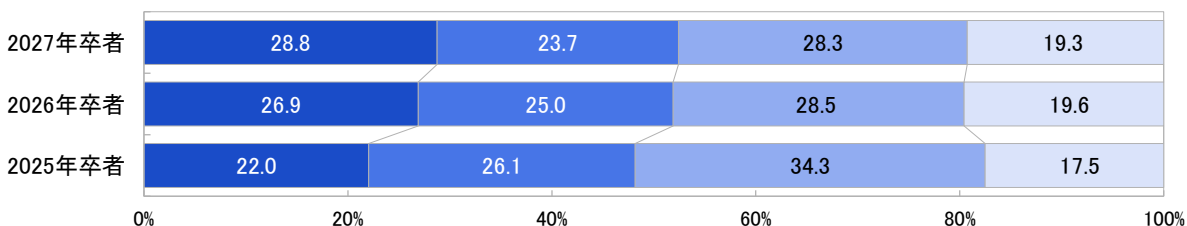
(社)

	全体	前年全体	前々年全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子
現在選考中の企業数	3.2	2.7	3.8	3.6	3.5	1.5	2.1
今後のエントリー予定社数	3.0	2.0	2.0	3.8	2.6	2.3	2.0
今後の会社説明会参加予定社数	2.5	2.0	1.8	2.7	2.4	2.6	1.3
今後のエントリーシート提出予定社数	3.2	2.2	2.1	3.9	2.9	2.2	2.1

今後の就職活動をどのように進めていくかという方針・戦略について尋ねたところ、最も多かったのは「新たな企業を探しながら、持ち駒企業の幅を広げていく」で、約3割を占める(28.8%)。過去2年に比べて増加しており、積極的に受験企業を増やそうという意欲がうかがえる。今後予定している活動量の増加にもつながっているのだろう。

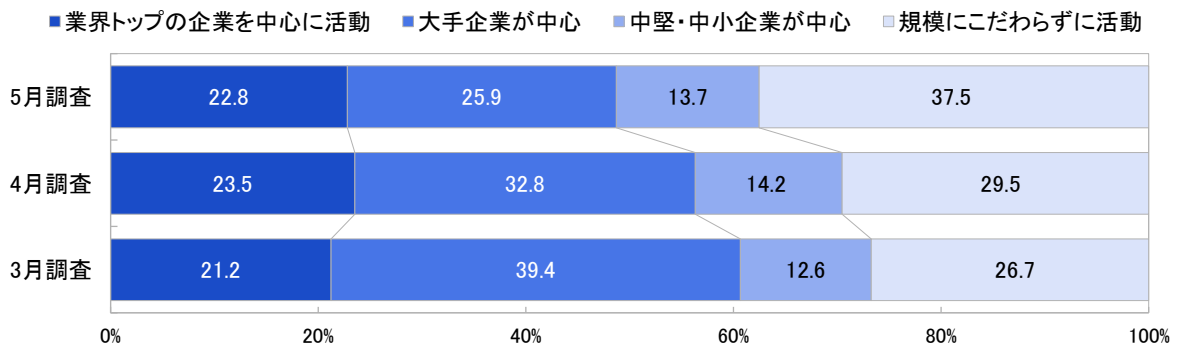
### <今後の就職活動の方針・戦略>

- 新たな企業を探しながら、持ち駒企業の幅を広げていく
- これまで興味をもった企業(エントリーした企業)を中心に活動する
- 現在選考が進んでいる企業に絞って活動する
- 志望度の高い企業に絞って活動する



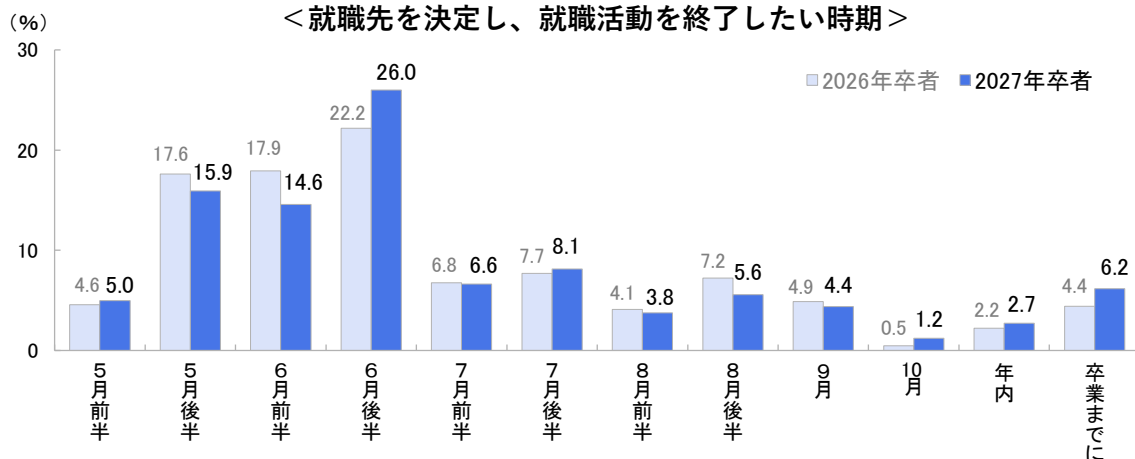
就職活動の中心においている企業規模について、3カ月の推移を見てみる。「業界トップ」を狙う学生はいずれの月も2割程度で変化ないが、「大手企業が中心」という学生は月を追うごとに減少。3月時点では約4割を占めていたが、5月には2割台まで減少した(25.9%)。反対に、「規模にこだわらずに活動」と回答した学生は毎月増加。特にこの1カ月で大きく増え4割近くを占めている(37.5%)。就活解禁から2カ月が経過し、就職戦線が佳境を迎える中で、これまでよりも広い視野をもって活動しようという意向がうかがえる。

<就職活動の中心においている企業規模>



就職先を決定して就職活動を終了したい時期は、「6月後半」が最も多い(26.0%)。選考解禁後の6月に照準を合わせている学生が多い様子が見える。一方で、「年内」「卒業までに」と回答した学生が前年調査より増えており、ある程度時間をかけても、自分に合う企業を探したいと考える学生も一定数いることがわかる。

<就職先を決定し、就職活動を終了したい時期>



■就活継続学生の声

- 周りに比べてかなり遅れを取っていて不安。 <理系女子/内定なし>
- 4月中に就活を終わらせることを目標にしていたのに、内定がないまま4月が終わってしまい、絶望しています。 <文系女子/内定なし>
- 持ち駒は何とか増やせたので1日も早く終わられるよう頑張りたいです。 <文系男子/内定なし>
- 周りが就職活動を終えていても焦らずに、自分に合う会社を、時間をかけて真剣に選んでいきたいです。 <文系女子/内定あり>
- 内々定を得ても、本当にここで良いのか迷ってしまうので、応募段階では絞りすぎず挑むべきだと感じた。 <理系男子/内定あり>
- ぜひ第一志望に内々定をもらって終わりたい。

## 8. 就活川柳

ここまでの就職活動で感じたことを、思いつまま川柳に詠んでもらった。全 468 作品が寄せられた中から、今年らしさのにじむ一例を紹介したい。

「売り手市場」と言われる中で、自身の理想を叶えるために腐心する就活生の率直な心情が表れている。

